

〇〇県 がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト(例):がん相談支援センタープロセス指標

施設名: _____

アウトカム		プロセス					
患者や家族および市民		がん相談支援センター				★実施したところに✓を入れる	
最終目標	準最終目標	必要な条件	必要な条件・状態	実施状況の例示		〇年〇月実施状況	開催場所の広がりや回数・配布数等の数値を把握する場合に利用
・困っている患者・家族が減る	・頼りにできる人・相談の場がある(寄り添う)	相談の場があると感じる人が増える	その人にとってアクセスしやすい相談場所・相談の入り口がある	1-1-1	・センターの窓口をわかりやすく提示した		
		相談支援センターの役割を知っている人が増える	多様な相談先がある 複数の相談場所がある	1-1-2	・センター外で出張がん相談を行った		開催場所、開催数など
		患者が孤立しない	情報や助けを求めている人に気づく人が増える 適切な相談窓口につながる人が増える	1-1-3	・ピアサポートの場をつくった(患者会・がんサロンなど)		場所の数、開催数など
		患者同士の交流が可能になる	院内・外へセンターの周知が行われる ・医療従事者(院内・外)が相談支援センターの役割を知っている ・紹介元から紹介先へうまくつながれる(うまく連携がとれている)	1-1-4	・がん相談支援センターの案内を個別に配布している(カード、ちらし、等々)		配布数枚
				1-1-5	・病棟カンファへ参加した		参加した場所、回数など
				1-1-6	・症例検討会へ参加した		参加した場所、回数など
				1-1-7	・医局会でPRした		参加した場所、回数など
				1-1-8	・各病棟研修会でPRした		参加した場所、回数など
				1-1-9	・ICIに同席した		同席した回数など
				1-1-10	・パンフレットを設置した		設置した場所、枚数など
	1-1-11			・ホームページへ案内を掲載した			
	1-1-12	・院内掲示板にがん相談支援センターの案内を掲示した		掲載場所、数など			
	1-1-13	・患者サロンのポスターを掲示した		掲示場所、数など			
	1-1-14	・患者サロンの開催予定入りポスターを掲示した		掲示場所、数など			
	1-1-15	・開催案内をリンクナースにML配信した		配信回数など			
	1-1-16	・患者会リストを提示した					
	1-1-17	・患者会チラシを配布した		配布数など			
	1-1-18	・患者会の運営支援を行った		支援内容、回数など			
	・患者中心の(その人なりの)意思決定が可能になる	(がん罹患後の)生活の見通しが立つ 問題の解決法・対処法が増える	相談対応の質が担保されている ・(相談員が)相談者のがんや状況の理解を助けることができる ・(相談員が)相談者に適切な情報や支援を通じてエンパワメントすることができる 相談対応の質が担保されている	1-2-1	・相談員研修を受けた		研修内容、回数など
			1-2-2	・院内勉強会に参加した		勉強会内容、回数など	
1-2-3			・事例検討会を行った(各センター内/県内)		回数など		
1-2-4			【都道府県拠点】 ・相談員研修を(定期的に)提供した		研修会内容、回数など		
1-2-5			・課題の共有や解決法の共有を行った(各センター内/県内)				
納得して治療を選択できる 意志決定に必要な情報が得られる 医療者とのコミュニケーションがうまくいく		相談対応の質が担保されている ・科学的根拠に基づく信頼できる情報が提供できる 理解を促進する説明ができる ・医師や看護師等へ理解を促進するような橋渡しができる	1-2-6	共有された課題や解決法について病院幹部、県部会、都道府県協議会へ報告した			
			再掲	・相談員研修を受けた			
			再掲	・院内勉強会に参加した			
			再掲	・事例検討会を行った(各センター内/県内)			
			再掲	【都道府県拠点】 ・相談員研修を(定期的に)提供した			
公平・中立な相談の場が確保される	だれでも相談できることを明示し、保障している 匿名で相談対応できることを明示し、保障している 個人の情報は保護され、適切に扱われる体制がある	1-3-1	科学的根拠や信頼できる情報に基づく情報整備・更新を定期的に行った				
		1-3-2	科学的根拠や信頼できる情報に基づく情報整備・更新した情報を活用した・活用できた				
		1-3-3	よりよい相談対応に向けたQA活動を定期的に行った				
		1-3-4	緩和ケアチームとのカンファレンスを実施した		開催回数など		
		1-3-5	他部署とのカンファレンスを実施した		開催回数など		
・(患者・家族・市民から見て)適切に対応できる医療者が増える	十分な説明、必要な情報を得られる 治療や治療以外の心配や不安について表出しやすくなる	1-3-6	すべての利用者に対して公平に対応した				
		1-3-7	・中立的な姿勢ですべての相談者に向き合った				
		1-3-8	・個人情報の取り扱いについてセンター内で定めた				
		1-3-9	・センター内で定めた個人情報の取り扱いを遵守した				
(がんになっても)安心して暮らせる	社会の支えが感じられる	広報活動が行われている	2-1	・がんの冊子やリーフレットを配布した		配布数など	
			2-2	・地域の療養手帳やリーフレットなどを作成した		作成数など	
			2-3	・イベントの広報誌、メディア等への掲載依頼を行った			
			2-4	・リレーフォーライフ(地域名)へ参加した		参加先、回数など	
	情報啓発の場が確保される	がん対策や治療に関わる新しい情報の発信ができる	2-5	・協議会や部会へ参加した		参加先、回数など	
			2-6	・協議会や部会での議題について共有した			
			2-7	・拠点病院相談支援センターのMLを活用した			
			2-8	・(新しい話題を入れた)患者や市民向けの講演会を行った		講演会内容、回数など	
	地域のネットワークの構築	地域に相談支援センターの周知が定期的に行われている	2-9	・(新しい話題を入れた)院内医療従事者向けの講演会を行った		講演会内容、回数など	
			2-10	・地域の医療関係者や就労支援等関係者向けの講演会や勉強会を行った		開催回数など	
			2-11	・地域ケアマネ等の研修会でPRを行った		開催した場、回数など	
			2-12	・病院のある地域の市町村役場に出向いた		訪問先、回数など	
			2-13	・挨拶回りをを行った		訪問先、回数など	
			2-14	・その他の周知活動を行った			

注1)全般に関連するが特に関連が深い目標のところに記載